

抗 Importin α 3/Qip1 抗体, ラット モノクローナル (3D10)

商品コード	70-325
容量	200 μ g
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマの培養上清から proteinA により精製された。
抗原	リコンビナント・マウス importin α 3 / Qip 1 (全長)
アイソタイプ	ラット IgG2a λ
反応性	ヒト、サル、マウス、ラット、ハムスター、ウシの importin α 3。この抗体は importin α 4 を含む他の importin α ファミリー・タンパク質には反応しない。
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (60 kDa の単一バンドとして検出) 2. ELISA この抗体は免疫蛍光染色や免疫沈降には適さない。
背景	Importin α ファミリー・タンパク質はタンパク質の細胞質から核への輸送に重要な役割を果たしている。Importin α ファミリー・タンパク質は核局在信号 (nuclear localization signal、NLS) と呼ばれる特定のアミノ酸配列をもつタンパク質に結合し、この複合体にさらに importin β が結合して 3 者複合体が形成されると importin β の機能により複合体は核膜孔を通過し、タンパク質が核へと輸送される。Importin α にいくつかのアイソタイプが存在するのは、それぞれが特定の NLS を認識して結合し、核輸送に働いているためと思われる。 Importin α3 (Qip1) は Importin α ファミリー・タンパク質の一員で、Qip1 subfamily に属している。
Data Link	UniProtKB D3DNM2
文献	この抗体は文献 3 で作られ、文献 3,4 で用いられた。 1. Yoneda Y “Nucleocytoplasmic protein traffic and its significance to cell function.” Review. <i>Genes Cells</i> 5 : 777-787 (2000) PMID: 11029654 2. Miyamoto Y et al “Differential modes of nuclear localization signal (NLS) recognition by three distinct classes of NLS receptors.” <i>J Bio Chem</i> 272 :26375-26381 (1997) PMID: 9334211 3. Sakaguchi N <i>et al</i> “Generation of a rat monoclonal antibody specific for importin alpha3/Qip1.” <i>Hybrid Hybridomics</i> 22 : 397-400 (2003) PMID: 14683601 4. Yasuhara N <i>et al</i> “Triggering neural differentiation of ES cells by subtype switching of importin-alpha.” <i>Nat Cell Biol</i> 9 :72-79 (2007) PMID: 17159997
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 70-325 抗 Importin α 3/Qip1 抗体、ラットモノクローナル (3D10)

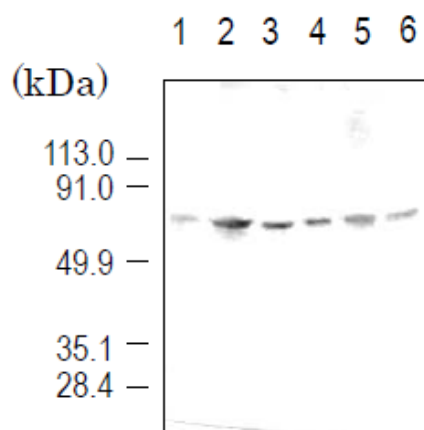


図 1

3D10 抗体を用いたウエスタンブロッティングによる importin α 3 の検出

サンプルは細胞全抽出液

lane1: HeLa (ヒト)

lane2: COS7 (サル)

lane3: L929 (マウス)

lane4: NRK (ラット)

lane5: BHK (ハムスター)

lane6: MDBK (ウシ)